

岩手県畜産協会会長杯

第 49 回 すずらん賞（Ｍ３）

盛岡競馬場３歳以上オープン・ダート１８００ｍ

11 月８日（日）　１７：３５発走

すずらん賞は１９７８年に創設。第１回から第 10 回まで旧盛岡・水沢１８００ｍで行われましたが、第 11 回から１６００ｍに固定。一時は南部杯トライアルでしたが、２０００年から青藍賞が南部杯トライアルへ移行。すずらん賞は青藍賞トライアルに位置付けられましたが、一昨年から北上川大賞典トライアルへ移行し、重賞へ再格上げ。距離も１８００ｍへ延長されました。

【注目馬情報】

★リケアカプチーノ　セン４歳　菅原勲きゅう舎・水沢

昨年５月、高知から転入２戦目の東北優駿を圧勝し、岩手伝統の一條記念みちのく大賞典へ挑戦。３歳馬で初制覇の偉業を達成しました。その後、３歳重賞・トパーズカップも制し、３歳最優秀馬に選出されました。今シーズンは赤松杯から始動しましたが、去勢明けの影響もあって４着。しかし２戦目・あすなろ賞２着からみちのく大賞典を完勝。史上７頭目の２連覇を果たしました。続くＪｐｎⅢ・マーキュリーカップ７着後、休養に入ってリフレッシュに専念。すずらん賞から戦列復帰は当初の予定どおりです。３ヵ月半ぶりの実戦となりますが、放牧先でしっかり乗り込まれて態勢万全。貫禄の違いを見せつけて終盤へ向けて弾みをつけたいところでしょう。

★フォースメン　牡３歳　菅原勲きゅう舎・水沢

今年４月、南関東５戦２勝から転入後も連戦連勝。東日本交流・ダイヤモンドカップを完勝し、自身の連勝を４に伸ばしました。続いてＪｐｎⅠ・東京ダービーへ挑戦しましたが、善戦及ばず 10 着。地元のＪｐｎⅡ・不来方賞６着、ＪｐｎⅠ・ジャパンダートクラシック 12 着に敗れ、全国の壁が高すぎた印象でしたが、今度は地元同士が相手。古馬挑戦は初めてですが、超一流馬との戦ってきた経験が生きるのは確実でしょう。

★ライアン　牡７歳　佐藤浩一きゅう舎・水沢

２歳時に平和賞（船橋）を制し、３歳時に羽田盃２着。その後、中央を経て一昨年に岩手入り。芝からダート変更のせきれい賞、桐花賞と重賞２勝をマークしました。昨年は特別２勝のみにとどまりましたが、今季は１勝２着２回。一條記念みちのく大賞典で２着を確保しました。青藍賞７着は久々の実戦と忙しいマイルが合わなかったのが敗因。ひと叩きされて上昇は確実ですし、主戦場の中距離以上に替わって反撃に転じます。

★ブライオン　牡３歳　橘友和きゅう舎・盛岡

２歳時は一般戦２勝に終わりましたが、今シーズンは重賞路線を歩み、スプリングカップ３着、イーハトーブマイル３着、やまびこ賞３着と上位へ進出。着実に成長を遂げ、３歳重賞・トパーズカップを１秒９の大差で圧勝。重賞挑戦７度目で初タイトルを獲得しました。今度は古馬一線級が相手ですが、勢いに乗っています。

★メイテソーロ　牡６歳　木村暁きゅう舎・水沢

中央ダート１勝、芝２勝から転入。盛岡芝１本のローテーションで重賞・せきれい賞、いしがきマイラーズで２着を確保しました。岩手では未経験のダート戦ですが、中央実績から問題はありません。

★ギャラクシーナイト　牡７歳　工藤裕孝きゅう舎・盛岡

中央ダート３勝、芝でも１勝をあげてオープンへ在籍。昨年 12 月に転入し、初戦を 4 馬身差で完勝。続く一戦 6 着から南関東へ移籍して金盃 14 着後に戦列離脱。再転入 2 戦は凡走しましたが、今回は休み明け３戦目です。

文／松尾　康司